

## 令和2年度 第9回 政策調整会議 会議録②

- 
- ◆開催日時:令和2年10月13日(火) 13:30~14:00
  - ◆開催場所:第1委員会室
  - ◆出席委員:堤副市長、大下教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長、牟田生涯学習部長
- 

### ◆審議事項

・岸和田市立社会体育施設再編基本方針について……………スポーツ振興課⇒承認

---

### ◆審議概要

#### 『岸和田市立社会体育施設再編基本方針について』

〈説 明 者〉庄司スポーツ推進課長、田中管理担当主幹

- ◎付議依頼書に基づき説明
- ◎説明後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉「岸和田市公共施設最適化計画」との関係性について、案件の1つ目であった「岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針」の書き方よりも本方針の位置付けがわかりやすい。文言を統一するように。

〈財 務 部 長〉パブリックコメントは行うか。

〈生涯学習部長〉今後のスケジュールについて、20日の政策決定会議で承認を得た後、公共施設庁内検討委員会に報告し、併せて議会への説明を行う。11月1日からパブリックコメントを実施し、12月の文教民生常任委員会にて報告する予定。さらに、来年1月から市民説明会を予定している。

〈教 育 長〉学校の水泳授業について、庁内で試行的に民間委託をして実施することになっていたが、残念ながら新型コロナウイルスの関係で、全ての水泳授業を中止した。本来であればその結果を踏まえて本格実施に踏み切っていくが、基本的に市民プールそのものは老朽化しており使用時期も限られているため、閉鎖していく方向性であることをまず前提に記載している。そのうえで、学校の水泳授業の扱いについて記載をする必要があるが、単独で各学校にプールを設置することは、年に数回の授業のために、多額の整備費・ランニングコストが発生するため現実的ではない。市民プールの現状と学校のプール整備の非現実性を説明し、外部委託を推進していくという記載になっている説明をすることになる。

〈総合政策部長〉今年の市長の施政方針の「みんな泳げるプロジェクト」の内容の中でも、「試行実施し、その効果について検証」という書き方であったため、矛盾はないように思う。指摘事項として、人口の状況において、「人口減少はさらに進んでいく」としながら、グラフには社人研の今後の推計が載っていないのでどのように減少していくのかがわからない。一方、案件の1つ目であった「岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針」であれば、今後の推計が

具体的に掲載されているので、同様に掲載した方が良い。先ほどの副市長の指摘である公共施設最適化計画との整合性の書きぶりに合わせて再検討するように。以上を踏まえて、本案件について、一部修正のうえ、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案を一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年9月 28 日

## 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

### 記

付議事項名	岸和田市社会体育施設再編基本方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	今後の社会体育施設の整備、維持管理及び運営を計画的、効率的に実施することにより、市の持続的な発展と豊かな市民生活の確保に資することを目的とし、再編基本方針の策定を行う。
説明者	スポーツ振興課 庄司課長 田中管理担当主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第9回会議
付議事項	岸和田市立社会体育施設再編基本方針について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	今後の社会体育施設の整備、維持管理及び運営を計画的、効率的に実施することにより、市の持続的な発展と豊かな市民生活の確保に資すること。

★総合計画上の位置付け

101010202	基本目標	I-1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)生涯にわたって能力を伸ばすことができている
	目指す成果	②スポーツを楽しむ市民が増えている
	行政の役割	イ 安全に楽しくスポーツができる環境を整える

★現状と課題

人口減少や少子高齢化の進展により、施設に求められるニーズや役割が大きく変化する中、将来の適切な施設のあり方について見直しをする必要があります。

また、現在、本市には社会体育施設が32施設ありますが、その78%にあたる25施設が築40年以上経過しており、施設の老朽化が進行しています。特に、体育館、市民プールについては、緊急修繕等による管理費用が高んでいる状況です。今後、老朽化が進行した施設が次々と更新時期を迎える一方で、財源不足など市が抱える課題も顕著であり、投資的経費の確保が非常に厳しい状況にあります。

厳しい財政状況の下でも、本市の社会体育施設が、将来にわたって利用者の安全・安心を最優先に、その求められる機能を十分に果たしていくためには、より一層、効率的、効果的な運営への転換や再編整備が必要です。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
政策調整会議 【令和2年10月13日】								
政策決定会議 【令和2年10月20日】								
パブリックコメント 【令和2年11月中】								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費			計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有	0	0	0	0	0
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	目標値				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。